

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		筑波ブロック広域観光連絡協議会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040302000572
総合計画の施策名		0403 観光の振興				単独/補助	単独	所属課	050301 商工観光課
政策名		04 活力ある産業のまちづくり				主要事業		グループ	商工観光グループ
施策名		03 観光の振興				市長マニフェスト			
手段名		02 観光資源の充実と商品開発				未来PJ事業			
予算科目		財務会計上の位置付け				事業期間			
会計		款	項	目	事業	細	単年度繰返し (昭和49年度~)		
01	07	01	04	01	00		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠						一般会計			
						観光事業			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
<p>①事務事業の概要 (事務事業の全体像)</p> <p>観光開発の諸施策について、筑波地域の関係自治体が協力して開発意識の一体化を図る。 筑波ブロック広域観光連絡協議会 → つくば市、土浦市、かすみがうら市、石岡市、桜川市の5市で構成。 年2回ワンデープランは成果の向上が見られないため、桜川市では平成26年度から実施していない。 事務局を2年ずつの輪番性で各市担当しているが、平成30年度については石岡市が事務局であるが連携事業等は特に行われなかった。 また石岡市から関東観光広域連携事業推進協議会への加盟について議題があったが、否決になった。</p>	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議への参加 ・ワンデープランの助成申請 → 桜川市では平成26年度から実施していない。 ・共同事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①観光PR用ノベルティの作成 ・観光PR事業の実施 (キャンペーン)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・会議への参加 ・ワンデープランの助成申請 → 平成26年度から実施しない。 ・共同事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①観光PR用ノベルティの作製 ②観光マップ作成 ・観光PR事業の実施 (キャンペーン) 	ワンデープランの助成申請	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	協同事業の実施	回	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00
	観光PR事業 (キャンペーン) の実施	回	2.00	0.00	0.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
県民・首都圏の人々	県民・首都圏の人口	千人	42,795.00	42,796.00	42,797.00	42,797.00	42,797.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
筑波山地域に訪れる登山者や観光レジャー客に満足してもらう。	パンフレットを配布した人数	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	単価	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
	事業費	財源内訳	千円	国庫支出金	0	0	0	0
				県支出金	0	0	0	0
				地方債	0	0	0	0
				使用料・手数料	0	0	0	0
				その他	0	0	0	0
				一般財源	103	100	100	0
				事業費計 (A)	103	100	100	0
	人員	人数	人	正規職員従事人数	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	100			19 負担金補助及び交付金	100
	合計	100		合計	100	

(4) 当該年度の実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	筑波ブロック広域観光連絡協議会参画事業	事務事業No.	40302000572	所属課	商工観光課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和49年に筑波山周辺地域の連携強化による観光振興など目的とし、首都圏からの交流人口を誘引するために結成した。つくばエクスプレス開業などにより、近年は筑波山登山客や観光レジャー客が増加している。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 広域連携し、誘客につなげてほしい。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	協議会の存続について、各市で協議したが他市では継続の方向を望む声があり、現段階での早急な解散は難しい状況となっている。今後は加盟市が重複している筑波山地域ジオパーク推進協議会と連携した事業を実施し、経費及び業務の効率化を図っていききたい。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑波山地域の周辺自治体が連携し、筑波山周辺に訪れる観光客や登山者に市の観光PRをする事業であり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 首都圏の観光客や筑波山登山客に筑波山地域の観光を広域的にPRする事業であり、桜川市のPRになっている為妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある この協議会の事業である自主事業や共同事業を利用し、更に市の観光資源のPRに努める。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 協議会事業のため、廃止、休止した場合には桜川市の観光振興として影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 筑波山地域ジオパーク推進協議会地域とは事業目的は異なるが、空間市以外は同じ市が協議会の会員なのでジオパーク事業との連携を検討する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 協議会事業のため、単独決定はできないが検討はしていく。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 筑波山地域周辺に訪れる観光客または首都圏に対し筑波山地域の観光をPRすることにより、桜川市の観光客誘致に繋がり、市の活性化を目的とした事業であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	結成当時は市町村合併する前のため、加盟市町村も多くあり各市町村間の連携強化及び筑波山地域の観光振興には多くの効果があったと思われるが、近年は観光課所管のその他の協議会が複数あり、協議会地域や事業内容も近いものもある。また各市ともに事務量が増えていることなどから協議会の方向性などを検討する時期に来ていると思われる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		⑦																								
コスト削減優先度評価結果																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>